

データ放送自局制作・送出システム



システム概要のご説明

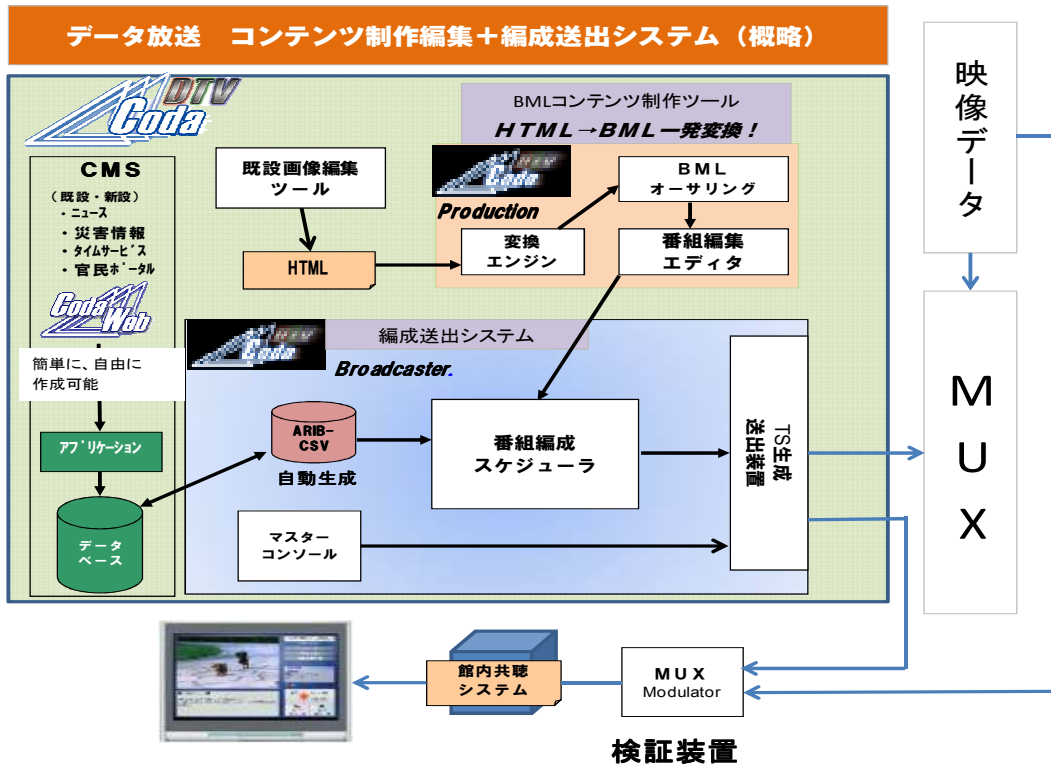
株式会社C-GRIP



今回ご案内のCodaDTVは、地上デジタルデータ番組を「自局で制作から送出までを簡単に実現可能」にするトータルシステムです。

詳しくは以下のとおりご案内いたします。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

1. ご提案システム概要



1-1. ご提案システム項目

弊社ではデジタルデータ放送設備のなかで、地上デジタルのデータ放送制作関連と運用に関わる部分に対してご提案致します。具体的なご提案としては次の項目となります。

■ **Coda-DTV Production.**

【BMLコンテンツ制作ツール】

- ・HTML→BML変換機
- ・BMLオーサリング機能

■ **Coda-DTV Broadcaster. (放送局パック)**

【データ放送番組編成・検証・送出システム】

※通常、現用／予備／待機の3系統必要ですが → 予備／待機を1系統にまとめ、合計2系統で運用可能

- ・番組編成機能
- ・TS生成・送出設備
- ・検証システム
- ・運行監視機能

■ **Coda-Web**

【CMS開発支援ツール】

- ・Webアプリケーション開発支援ツール (JAVA)

1-2. ご提案システムの概要説明

【制作の条件】

地上デジタルデータ放送用コンテンツの制作は、BML及びE CMA Scriptによるプログラミングが必要になります。

【制作の現状の問題点】

これらのプログラミングには、専門的な技術が必要であり、その習得には多くの費用と期間が必要とされています。また、プログラミングによる制作運用は、人為的ミスによる放送事故を回避するため、その検証に多くのコストが必要となります。

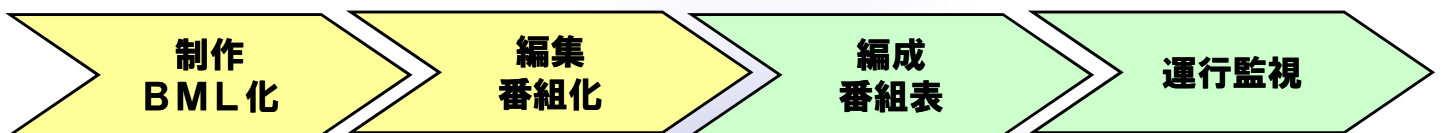
【現状の解決策とその問題点】

この問題点に対し、比較的 low コストで実現可能なテンプレートを使用する事による運用方法がありますが、この方法はデザインの自由度が低く、デザインの変更による多額のカスタマイズ費用が必要となっているのがほとんどです。

【Coda-DTVの優位性】

- ・デザイン → HTMLをBMLに変換：プラスα → コンテンツを再利用が可能
 - ・動作設定 → 選択・設定といった操作でプログラムが自動生成
 - ・データ放送番組の編成が容易
 - ・データベース連携が容易
- デザインの自由度も上がり、人為的ミスの回避・コスト削減
- ・容易で円滑な運用管理を実現！
- 簡単なもので15～30分でBMLコンテンツの作成が可能です。

1-3. ご提案システムの構成と運用イメージ



Coda-DTV Production.

(BMLコンテンツ制作・カスタマイズツール)

【制作部門・制作会社】



BMLコンテンツ制作機能

【編集部門】



Coda-DTV Broadcaster.

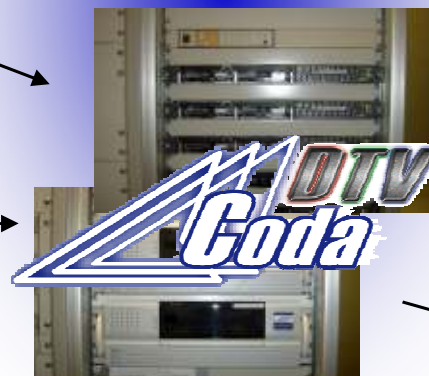
(自局編成・送出ハード) 【編成部門】



【運用部門】
(マスター)



【検証システム】

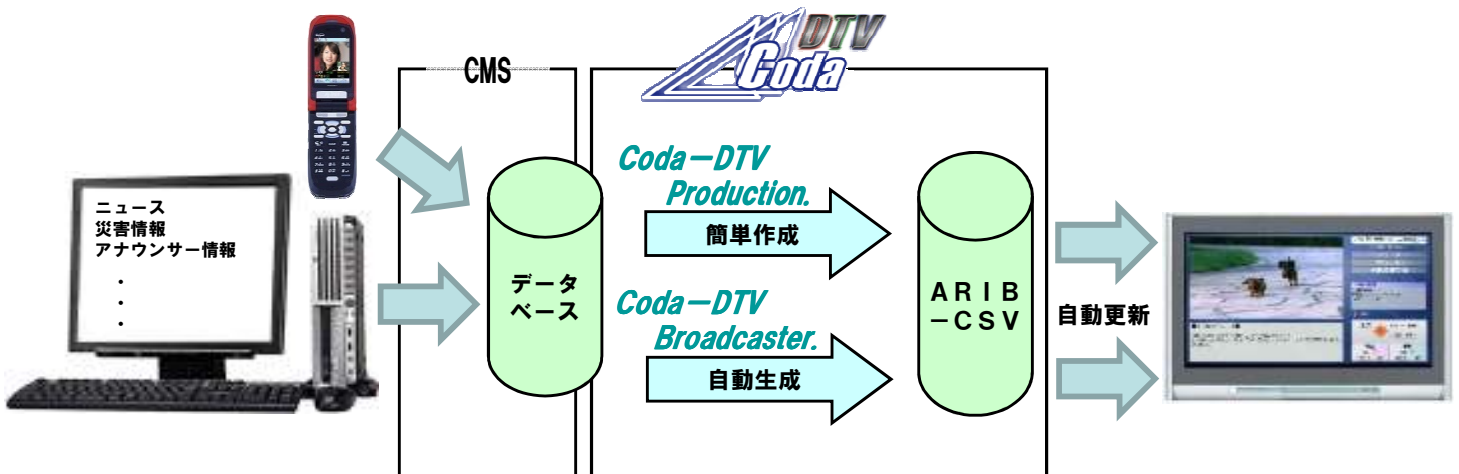


2. BMLコンテンツ制作機能

従来のテンプレート方式でのデータ放送制作とは異なり、Coda-DTVは、放送したい番組に合ったデザインをHTMLで制作し、HTMLからBMLへ変換することが可能です。（独自技術）

このため、**自由度の高いBMLコンテンツを容易で安価に制作することが可能です。**

また、データベース連動によるARIB-CSVの作成及び自動更新が可能のため、テンプレートにとらわれない自由度のある自動更新コンテンツの作成が可能です。また、編集には新たに端末を購入する必要がなく、現在お使いの画像編集ソフトなどもそのまま御使用頂けます。

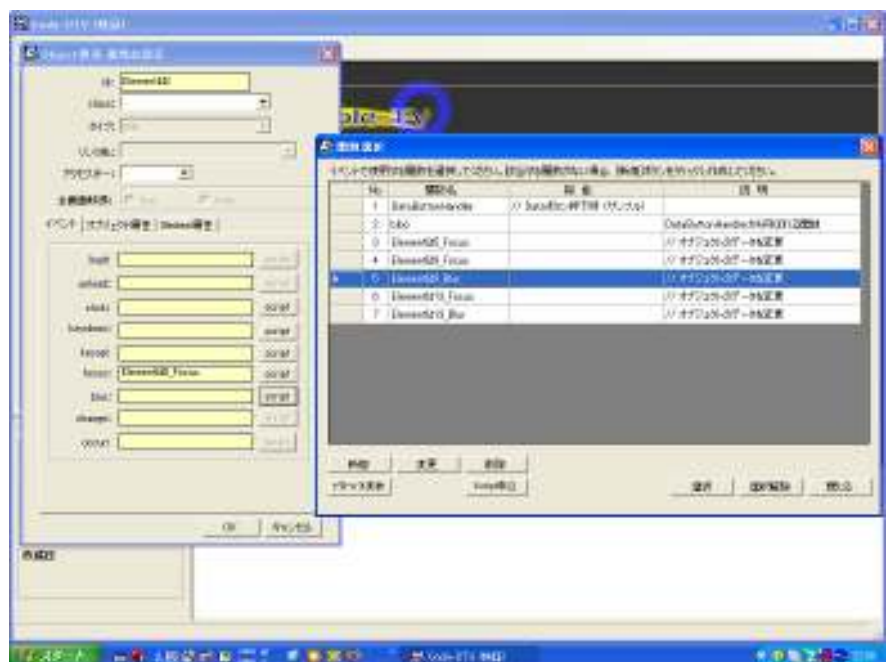


データ放送の動作を定義するECMAScript言語は、専門知識が必要で、プログラムミスによる、放送事故の1番の原因となり得るポイントです。

Coda-DTVでは、**検証済み**のプログラムを部品化し、選択・設定といった操作でプログラムが**自動生成**されるため、**専門知識が不要**で、**放送事故**を**最小限**に抑えたデータ放送コンテンツの制作を実現できます。

画面遷移、フォーカス時のボタン画像の変更はもちろん、一般的な、ARIB-CSVを使ったダイナミックBMLについても、**ノンプログラミング**で制作が可能です。

また、**受像器メーカー**により解釈の異なる**問題**についても、**専門知識**が必要なく、**初心者**でも**30分程度**で、**制作した実績**もあります。



3. 番組編集機能

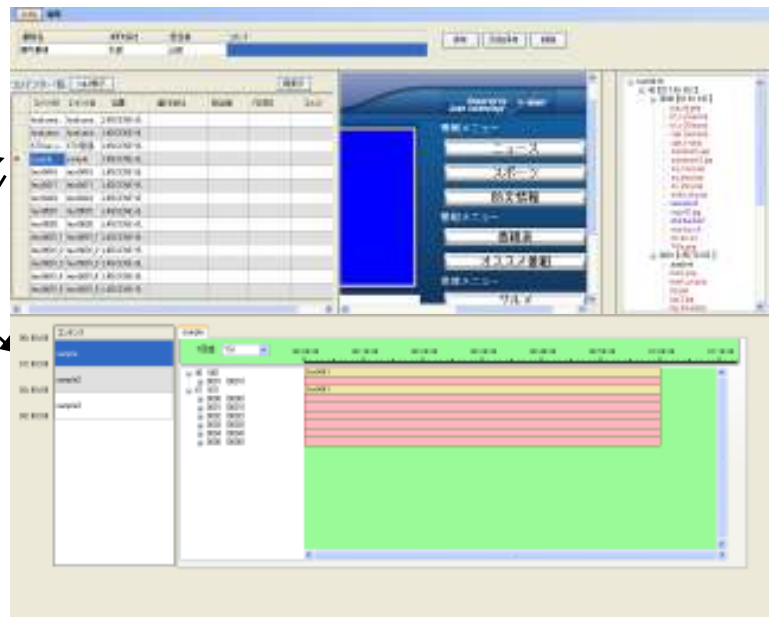
Coda-DTVにおける**番組編集**は、制作したBMLを番組内で構成を行うことができ、例えば番組内の**一定時間帯のみ**表示するアンケートなどの**番組連動が実現**できます。

制作したBMLコンテンツに**時間軸**（放送時間）の情報を加え、まとまった一つの番組として登録が可能です。

これにより、**1番組で複数のBMLコンテンツ**の「番組編集」が簡単にでき、きめの細かい番組編集が可能となります。



制作したBMLコンテンツ



複数のBMLコンテンツを番組として「編集」

4. 番組編成機能

Coda-DTVにおける**番組編成**は、1日の番組を**番組表**のように配列することにより、番組編成を行うことができます。

編集された番組を**放送日・放送時刻**に合わせて「編成」します。

また、編成は「**考察**」処理という承認処理により確定します。

本機能で**誤った編成**による**事故**やその**責任分岐点**も明確になり、データ放送の業務の円滑な運営が可能です。

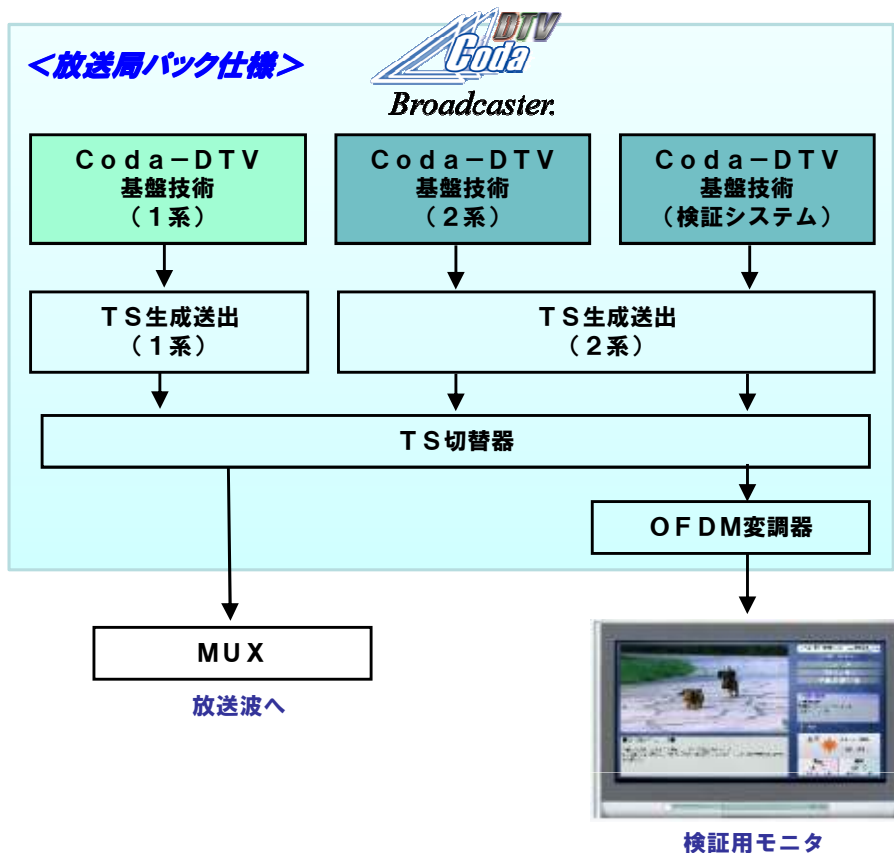


5. 検証システム

Coda-DTVは、現用系・予備系の2系統の装備に加え、**予備系の空き稼働**を有効利用した検証システムを備えています。

検証システムは、予備系の生成・送出装置を一時的に使用し、OFDM変調器を通して、局内の受信機・受像器に表示することにより、**実機**によるデータ放送画面の**動作確認**が可能であるとともに、資源の有効活用ができ、**低価格で3系統**と同等の設備内容が実現できます。

また、**動画コンテンツ**とまとめて、検証をお望みのお客様には、別途**Coda-DTV MUX Modulator**があります。



6. 運行監視機能

Coda-DTVにおける放送局側の**運行監視**は、監視用コンソールにより実現します。

Coda-DTVの監視用コンソールは、現在放送中の番組から放送を控えている番組まで、リソースの存在確認も含め表示を行います。

また、急な**番組延長**や**特別番組**などにも対応でき、その操作は多くの放送局担当者に**違和感のないインターフェース**で実装されています。



7. CMS開発支援ツール(Coda Web)

Coda-DTVはデータベースとの親和性が高いため、データベースを使用したシステム構築に威力を発揮します。

Coda-WebはJava言語を使ったWebアプリケーションを簡単に開発することができるため、データベース連動のデータ放送企画の都度、CMSの開発に多くの費用を必要としません。



データベース連動を応用することにより、新たなビジネスモデルをデータ放送で実現することも可能となります。

また、開局時に多くのコストをかけることなく、データベース連動のデータ放送導入が短期間で実現できます。

8. BMLコンテンツ制作トレーニング(1日間)

Coda-DTVを使った番組制作の研修を承ります。

トレーニングと言っても、操作説明が中心で、「一刻もはやく自分達で制作したい」とのご要望があれば、実際に「開局用コンテンツの制作」を題材にBMLコンテンツを制作するカリキュラムを準備していますので、開局用のコンテンツ制作に別途費用がかかることはありません。

9. 導入スケジュール案

【最長】 既存設備（メーカー）によっては、6ヶ月以上かかる場合があります。

事前調査：接続設備詳細、接続状況など・・・詳細はお問い合わせ下さい

【最短】

3ヶ月前	正式受注 機器納入手配(制作端末、実機検証装置)
1ヶ月前	設置工事・設定調整期間 全体システム結合テスト、およびシステム試験運用 導入前研修(3日間)
2日前	立会い
当日	デジタルデータ放送本サービス開始

※詳しくは担当者までお問い合わせ下さい。

10. 保守サービスに関して

弊社の保守サポートについては、コールセンタの設置、ハードメーカーとの提携による保守体制（365日24時間対応のコールセンタ対応も含む）など各種メニューを用意しております。

また、技術的な問い合わせなどについても、弊社営業時間内における電話及び電子メールによる対応を受け付けております。

また、マイナーバージョンアップを含むオプションなどもご要望により、準備しております。

価格については、内容や条件により異なりますので、別途お見積が必要となります。